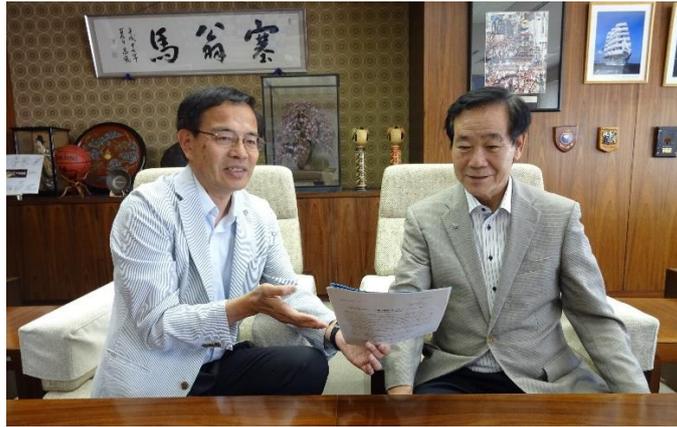


●市長への提言



○市政評価

市長におかれましては平素、蒲郡市のため市民のためにご尽力くださいますこと、心よりお礼申し上げます。

特に健康づくりを通し市民がいつまでも生き生きと

暮らすことができることを目指す傍ら、保険給付の削減に努めていただいております。

また、子育て支援として中学校卒業までの通院・入院費の無償化も行っていたでいています。教育支援では小・中学校の少人数学級を継続していただいております。これらは他の市町には事例が極めて少ない先進的な事業であると認識しております。

子育て世代を包括的に支援する制度は支援を受ける側だけでなく支援をする側にとっても、これまでの問題を解決する手段として期待されるものです。

また、マイナス11m岸壁の整備事業に協力する中でクルーズ船や自衛隊艦船を

誘致するなど、海を利用した観光振興や経済振興にも力を注いでいただいております。以前より大きく展開している事業であると高く評価しております。

国道247号バイパスが完成し幹線道路としてだけでなく、本市の生活道路として非常に有効に機能していることは想定以上の成果だと認めるところです。この道路の完成に対し市長の力強い協力があつたことは承知しております。

名古屋市立大学病院と提携を結び寄付講座の開設を、一時期自立できないのではないかと思うほどの市民病院が立ち直りつつあります。また、再生医療については他の自治体病院にはまねのできないような先進

的な取り組みをしていただき、今後の展開を大いに期待するところです。

また、企業用地の開発や企業誘致に尽力していただき、重要な農業政策であるほ場整備にも取り掛かっていただいております。

本市の発展に重要な道路である国道23号バイパス完成に向け国への協力もいただいております。

ラグーナ蒲郡の発展的解消と新生ラグーナテンボスの開園により海陽地区のさらなる賑わいが創出されました。この施策の中で蒲郡市の大きな負担が解消したことは特筆に値します。市長の重要施策である健全な行財政運営が実行されていることを高く評価するものです。

このような中ではありませんが、今以上に力強い安定した蒲郡づくりと市民生活のために、以下提言いたします。

○提言内容

1 立地適正化計画の具体的施策を進めてください。

居住誘導区域と都市機能誘導区域が設定されました。コンパクトシティーを目指すなど立地適正化計画に沿った具体的実施案を策定してください。

①名鉄鹿島駅周辺への具体策として、国道247号鹿島バイパスのクラスポ蒲郡入口から鹿島町地内宮ノ要信号交差点へ抜ける市道の新設を提言します。

②JR塩津駅・名鉄競艇場前駅周辺の具体策として、

公共下水道整備事業に早期に取り掛かるよう提言します。

2 公共施設マネジメント事業の具体的実施を早期に進めてください。

本事業は市全体事業と地区事業に分けられています。市全体事業においては大胆な計画が必要と考えます。

また、塩津地区と西浦地区では地区民によるワークショップの結果、地区個別計画が策定中とされています。

①市全体事業では市民会館現在地に市民交流センターを設置してください。例として市民会館機能、図書館機能、勤労福祉会館機能を併せ持った5階建ての施設。

②塩津地区の小学校、保育園、公民館は老朽化が進ん

でいます。この上は早期の建替え、集約を提言します。

3 モーターボート競走事業のさらなる発展に努めてください。

モーターボート競走事業の電話投票は郵貯バンクで決済ができるようになって



から10・3%の売り上げ増加となっておりません。本市における貴重な自主財源として喜ばしい限りです。

①つきましては更なる売り上げ増を目指してJABANKを利用した電話投票決済ができるよう提言します。

4 公共交通対策事業の継続・拡充をしてください。

①名鉄西尾・蒲郡線は本市西地区の生活基盤の安定になくてはなりません。蒲郡線がなくなれば本市全体の負担が増加することは明らかです。よって、令和2年度以降も蒲郡線が継続するよう西尾市や名鉄との協議を求めます。

②名鉄路線バスに対する補助の継続を同様に求めます。

③交通弱者のために支線バ

スの運行や高齢者に対するタクシー運賃補助をしていただき、多くの人に喜ばれています。鉄道、路線バス、支線バスが届かない交通弱者のために、タクシー運賃補助の割合を増やしていただくよう提言します。



5 企業再投資促進補助の拡充を求めます。

本補助金制度はすでに数社の企業が利用し本市の将来投資としても役に立っているところですので。しかし、中小企業では従業員数など一定規模以上の企業でなければ補助を受けられません。

①本市の地場産業といえる繊維関連企業は要件を満たすことができず、補助が受けられない現状があります。本市の現状に合った補助政策を作っていたかどうかを言います。

②本市は再生医療産業の集積市として愛知県からも期待されています。そこで新産業育成の観点から、再生医療関連企業（部署）誘致のための補助制度を、県を巻き込んでご検討下さい。

6 特色ある学校教育の充

実を求めます。



少子化の中、学校教育にも影響が表れています。人材育成をする中で、今まで以上に外国人とのコミュニケーションは社会形成上、重要になっています。外国人から見たコミュニケーションの一つは多くの

言葉が必要としないスポーツです。また、文化や芸術もその範疇に入ります。日本人は当然、すべての児童生徒が学びやすい環境も必要です。

①小中学生の海外派遣事業に、インドなどアジアも含めてください。

②中学生に夏休み個人ホームステイ補助制度を創設してください。

③クラブ活動に外部指導員を積極的に取り入れ、自己肯定感醸成のためにもクラブ数の充実を求めます。

④全小中学生にタブレットを配布し、外国語教育や多言語教育に対応してください。また、理科や数学の映像教育にも役立つようにしてください。

⑤経済的な事情に左右され

ず、自らの夢や願いを實現するために、進学を希望する子どもたちに対して、返済の必要のない市独自の給付型奨学金制度の創設を要望します。



⑥人工知能（AI）が人間の多くの仕事を代替すると、言われる時代を迎える中で、子どもたちの自ら主体的に考える力、問題発見・解決

能力と判断力を養い、創造力と自己実現能力を身につけるために、小学校におけるプログラミング教育の推進を要望します。

7 蒲郡東港周辺整備の具現化に進んでください。

三河港ポートルネサンス21計画の改定版である蒲郡インナーハーバー計画が平成6年に策定されました。しかし残念ながら、現在は仮の活用にとどまっています。

①蒲郡インナーハーバー計画を実施するか、実現可能な具体的計画に改定してください。

②HISに対しラグーナテンプス事業の拡張として、蒲郡東港周辺と三河大島の利用を提案してください。



8 近隣市町との連携を強化してください。

蒲郡市は東三河広域連合の一員として介護保険事業を広域で行うなど東三河の自治体と共同で事業を行っております。また西三河近隣市町と観光事業などの連携も行っているところですので、ハード面でのまちづくり

やソフト面での事業展開においても幸田町との連携を強化してください。ここには県道拾石三ヶ根停車場線の拡幅工事を含みます。

9 交通安全対策を強化してください。

近年、若年者はもちろん高齢者の交通事故がクロージアアップされております。被害者となることはもちろん加害者になることも非常に不幸なことです。本市としてもこれらに対するために対策は続けていくべきと考えます。

①高齢者安全運転支援装置等搭載自動車購入補助制度の導入を求めます。

②自転車活用推進条例の策定を愛知県に求めてください。

10 社会的弱者保護に努めてください。

本市にも病弱、高齢、ひとり親、障害などによるハングキャンプのある方が多くいます。多くは収入が少なく生活不安を抱えています。近年ではいじめや就職難による社会構造弱者の声が多く聞こえてくるようになりました。

①自殺対策に関しゲートキーパー研修を充実させてください。周知については細かな配慮をお願いします。  
②引きこもりの本人だけでなく保護者家族へ寄り添う対策を求めます。

11 災害時避難対策をすすめてください。  
地震にしろ台風にしろ、

災害はどのような形でやってくるかわかりません。本市においても事後の対応は深く考えられているところですが。市民一人ひとりの実情に合わせた対応も考えられているところですが。それをもう一歩踏み込んでいただきたい。



①身近な集会施設を地域避難所として活用することを求めます。

12 子育て施策の充実を求めます。

近年、若者世代の価値観の多様化により旧世代の既成概念は通用しづらくなつてまいりました。子育てに関する環境の変化も同様です。しかしながら、人が生きるという基本的で変わらないことも多くあります。

その意味で存在していたものがなくなるといふことで不都合を感じる部分もあります。子育てについては最善の努力をお願いします。

①公園によっては、数十年にわたって同じ遊具が使われていますが、安全性を確保し、公園の魅力をさらに高めるため、公園の遊具の更新を要望します

②東部小学区には街区公園及び近隣公園が一カ所もな

く、また、とよおか湖公園は人家から離れた山の中腹にあり、とても気軽に利用できるような公園ではないため、小学校からも歩いて行ける範囲に、新たな公園の新設を要望します。

③子育て施策の一環として、自宅や児童館にはないボールプールやボルダリング、エアキャップスルや滑り台などの遊具を常備した、室内にて親子で遊ぶことのできる施設の新設を要望します。このような施設は、近隣自治体にはなく、蒲郡市の魅力を高めることにつながると思信します。この件について民間企業の誘致もご検討下さい。

以上